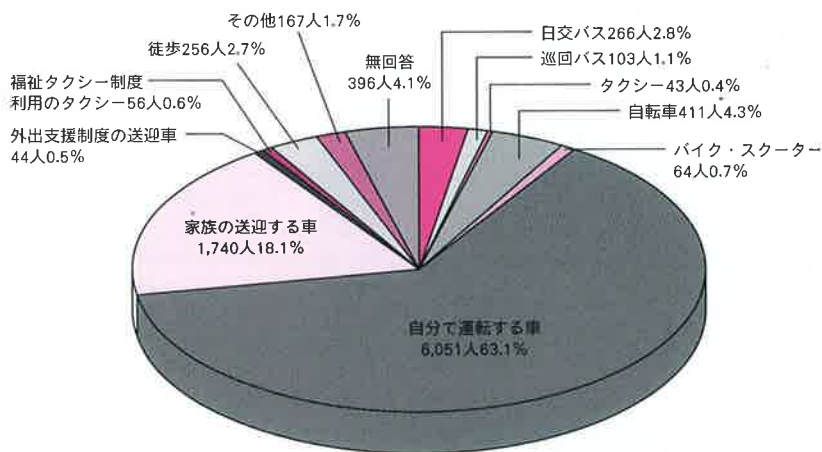
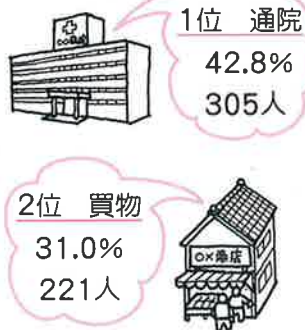


日常の移動手段は



通院・買物が主



公共交通機関を利用される方の利用目的を複数回答でお聞きしたところ、利用の1位は通院、2位は買物だった。

3位以下は3位が趣味娯楽 (13.3% 95人)、4位知人・友人宅の訪問 (7.0% 50人)、5位通勤 (4.6% 33人)、6位その他 (1.1% 8人) だった。

日常の移動手段は免許の取得率、自動車の保有率の高さを裏付けるように自分の運転する車および家族の送迎する車が全体の81.2% (7,791人) で、日交バス・巡回バス・タクシーなどの公共交通機関を利用される方は、全体の4% (391人) だった。公共交通機関の利用は交通弱者が中心と見られる。

出かける先は...

	順位	大山地区	名和地区	中山地区
買物先	1位	Mマート (27.4% 84人)	Aコープなわ (62.1% 95人)	丸合中山店 (41.7% 43人)
	2位	Aコープよどえ (20.8% 64人)	丸合淀江店 (11.8% 18人)	Aコープなかやま (33.0% 34人)
	回答数	307人	153人	103人
医療機関	1位	その他 (33.1% 102人)	小谷医院 (40.8% 71人)	佐々木医院 (33.6% 41人)
	2位	大山口診療所 (26.6% 64人)	明石歯科医院 (13.8% 24人)	その他 (20.5% 25人)
	回答数	308人	174人	122人
公的施設	1位	役場大山支所 (55.6% 129人)	役場本庁 (44.9% 72人)	役場中山支所 (42.0% 34人)
	2位	大山公民館 (11.6% 27人)	保健センターなわ (26.5% 43人)	中山公民館 (19.8% 16人)
	回答数	232人	162人	81人

公共交通機関を利用して出かける先の1位は、基本的に中山地区にお住まいの方は中山地区内、名和地区内の方は名和地区と、各地区ごとにある施設が選ばれています。(大山地区の医療機関の1位は「その他」ですが、個々の医院名が複数挙がっています。これを除外すると1位は大山口診療所、2位は大山診療所となります。)

2位以下にはお住まいの近隣の地区も選ばれています。このことから公共交通機関を利用した日常生活範囲は、概ね各地区内を中心とした傾向にあることが判りました。なお今後、路線などができた場合に出かけてみたい先の傾向は、概ね現在出かけている目的地と同じ傾向であることも判りました。

満足度は？

公共交通機関の利用しやすさの満足度は、1位がどちらともいえない (41.1% 963人) 2位不満足 (17.7% 416人) 以下やや満足 (16.3% 381人) ややや不満 (15.2% 357人) 満足 (9.7% 227人) の順でした。

まとめ

現在の公共交通機関の利用は交通弱者の方が中心ですが、誰もが、安心・安全な日常生活が送れるためには、日常生活範囲内の公共交通の利便性の確保が必要です。

大山町の交通体系の見直しは、このアンケート結果を最大限に活かせるよう、大山町地域公共交通会議を通じ、見直し計画案について調整を進めています。

☆詳しくは

アンケートの詳しい結果、大山町地域公共交通会議の内容については、大山町のホームページに掲載していますのでご覧ください。
http://www.daisen.jp/

◆ご意見・問い合わせ先

企画情報課

☎ 0859・54・5202

eメール kikaku@daisen.jp